

令和5年2月2日更新



社会福祉法人

川崎市社会福祉協議会

職員紹介



川崎市社協の
職員へインタビュー！！

どんなお仕事？
なんで就職したの？

いろいろ聞いてみました！



かわさきSDGs
ゴールドパートナー

川崎市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

区社協地域課 書記 入職4年

社協職員へのQ&A

INTERVIEW



現在のお仕事について教えてください！

「地域住民とともに取り組む地域づくりは面白く魅力的」

主に地区社協・ボランティア活動振興事業を担当しています。地区社協は、地域に最も身近な社協として、高齢者・障がい者・子育てといった各部会活動や委員会活動を展開しています。地区社協が自主的・主体的な活動をすすめていけるように日々関わっています。

ボランティア活動振興事業には、講座や交流会の企画・実施をはじめ、福祉教育の推進、広報誌情報誌の発行などの様々な事業があります。日々窓口で受けるボランティア相談では、年齢性別を問わず、ボランティア活動をしたい人・ボランティアを求める人の相談を受け、個人や団体・機関とつなげたり、情報提供を行っています。

印象に残っているお仕事は？

「相談から活動の立ち上げまでともに実現できたこと」

区社協地域課は市社協のなかでも特に地域に近い部署です。窓口や電話で相談を受け、ボランティアや地区社協、町内会、民生委員、専門職など様々な人と協力をしながら解決に向けて取り組んでいます。

特に印象に残っているのは、“地域で新たな活動を立ち上げたい”という相談を受けたことです。相談者の「実現したい」「地域を良くしたい」という熱い想いに触れ、実現に向けて何ができるか一緒に考えていくことは、社協の魅力であり私にとってとても貴重な経験となっています。実現に向けて伴走するなかで、地域住民や専門機関など多くの方が手を貸してくれました。人との出会いやつながりから、私自身も成長を実感することができました。



なぜ川崎市社協に就職したんですか？

「分野を問わず広い視点で地域福祉に携われると思ったから」

私は地域福祉に携わりたかったことから川崎市社協に就職しました。地域福祉に興味を持ったきっかけは、ある街でのボランティアの体験にあります。そこでは「ごちゃ混ぜ」をコンセプトに、障がい児入所施設やサービス付き高齢者向け住宅、デイサービス、学生向け住宅、NPO法人、企業など、あらゆる人が分け隔てなく一緒に暮らす環境が備えられていました。実際にその街に行って住み込みのボランティア活動をしたことで、地域づくりの面白さを知り、地域福祉をやりたいと思うようになりました。また、社協には幅広い事業があることから、様々な経験ができると考えて就職しました。



ある1日に密着！

8：30 出社
決裁書類・メール確認



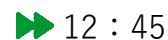
10：00

ボランティア活動振興センター
運営委員会



12：00

昼休憩



12：45

電話対応・窓口対応 等



15：00

地区社協ふれあい懇談会



17：00 退社

※12：30出社 → 21：00退勤のローテーション勤務に就く場合もあります

川崎市社協に就職する方へ メッセージをお願いします！

社協には幅広い事業がありますが、地域課の仕事は地域の方々と一緒に作り上げることができるのが魅力だと思います。担当事業については自分自身でスケジュール管理の調整ができるので、休日も取得しやすく仕事とプライベートの両立ができると思います。

区社協あんしんセンター 主任 入職15年



社協職員へのQ&A

INTERVIEW

現在のお仕事について教えてください！
「ご本人と一緒に話し合い
その人らしい暮らしをサポート」

区あんしんセンターの専門員兼相談員として働いています。
福祉サービスの利用契約や日常的な金銭管理などに不安のある高齢者、障害のある方が安心して生活を送ることができるよう、日常生活自立支援事業を提供したり、成年後見制度の利用について相談を受けたりしています。
日常生活自立支援事業ではお金の流れについてご本人に確認する場面があるのですが、時には話すことを嫌がられたり、怒られたりすることがあります。どう伝えたら話をしてもらえるか、信頼して話してもらえよう対応の仕方には気を付けています。

印象に残っているお仕事は？
「“ちびまる子ちゃん”のお芝居をしたこと」

「認知症サポーター養成講座」が始まった頃、私は地域包括支援センターに所属していました。認知症の人とその家族の応援者である“認知症サポーター”を養成するため、企業・団体など様々な人を対象に研修を実施するなか、地域の集まりで小学生を対象に行うことになりました。
子どもたちが、ただ職員の説明を聞いて終わるのではなく、認知症という病気を身近に感じられるように、これからサポーターとして活躍できるように…という思いから、ちびまる子ちゃんのお芝居をすることにしました。私がちびまる子ちゃんを、上司がおじいちゃん、同僚がおばあちゃんを演じました。職員みんなで話し合い、一緒に考えて働く楽しさを実感し、いまでもとても印象に残っています。



ある1日に密着！

＼民生委員の定例会、ケアマネの勉強会などに伺う日もあります／

8:30	▶▶	9:30	▶▶	11:00	▶▶	12:00	▶▶	12:45	▶▶	17:00
出社		訪問		カンファレンス		昼休憩		デスクワーク		退社
		事業・制度説明		参加				決裁書類、メール確認、記録の作成		
		調査訪問 等						電話対応、窓口対応 等		



なぜ川崎市社協に就職したんですか？
「地域づくりの楽しさに惹かれました」

以前は川崎市外の障害分野で仕事をしていました。障害のある方も地域のなかで仲間と映画やボウリング、ランチといった余暇活動を楽しむことができるような企画を担当していたのですが、その時の地域ボランティアの方々との関わりから、地域づくりの楽しさを知り、社協の仕事に興味を持ちました。川崎への引越しをきっかけに、始めは嘱託職員で入職し、試験を受けて正規職員になりました。

仕事と育児の両立について教えてください！
「産休育休を2度取得、両立しやすい職場です」

現在2児の子育てをしながら働いています。産休育休制度を2度取得し、復職後しばらくは時短勤務で働いていました。現在は子どもが大きくなり手がかからなくなってきましたが、小さい頃はお休みが必要になることも多くありました。そのような時は子どもの看護休暇や時間単位での休暇の取得ができたため、大変助かりました。

家事や子育てについてなど、先輩後輩関係なく気軽に話せる雰囲気があることも、とても有り難く感じています。

川崎市社協に就職する方へ
メッセージを
お願いします！

川崎市社協は温かい人が多いです。社協の仕事をあまり知らなくても、職場の先輩方がサポートしてくれますので、安心して仕事ができます。様々なアドバイスを受ける中で、試行錯誤しながら自分なりの仕事のやり方を見つけることができるというのは、仕事をする上での楽しさの一つだと思います。

総務部 経理課 課長 入職22年

ある1日に密着！

8:30 出社
 決裁書類
 メール確認

9:30 銀行等 外回りへ

10:30 内部会議

12:00 昼休憩

12:45 デスクワーク
 給与計算
 財務入力
 決裁作成 等

 職員対応
 電話対応
 窓口対応 等

17:00 退社



現在のお仕事について教えてください！
「経理課長として法人全体をサポート」

基本的に法人全体の経理管理などデスクワーク中心の仕事内容になります。他の部署と比べると、地域住民に接する機会は少ないところではありますが、総務部の仲間をはじめ、たくさんの職員と協力し、楽しく仕事をしています。

なぜ川崎市社協に就職したんですか？
「仕事の幅広さを魅力に感じたから。」

新卒で入職して約22年になります。学生時代は公務員・福祉関係の仕事に興味を持っていました。

社会福祉協議会には福祉に関する幅広い業務がありますが、その業務は住民を中心に、行政・民間・福祉・医療・司法等様々な関係者との連携なしではできません。多くの方と関わり、経験を重ねることで成長できると考えました。

.....
川崎市社協に就職する方へ
メッセージをお願いします！

社会福祉協議会には幅広い業務があります。就職して様々な経験をするなかで、自分にピッタリの仕事が見つかるかもしれません。



社協職員へのQ&A
INTERVIEW



印象に残っているお仕事は？
「地域の方と一緒に働くことは楽しく、
今も地域に対して思い入れがあります。」

地域課配属の時に相談を受け、寄付金を活用し困窮している子育て世帯へクリスマスケーキを配布するイベントを行いました。希望者には関係者がサンタクロースの装いで訪問し、特に小さい子供たちに喜ばれました。

民生委員や地元のケーキ屋さんなど、多くの方から協力を得て実施することができ、今も忘れられない出来事です。

また「高齢者フリーパス(旧・敬老パス)」の立ち上げに関わったことは今も印象に残っています。他都市の様々な事例を参考に、川崎市のマニュアルを作り上げることは大変でしたが、当時つくったマニュアルが現在も各区社協で活かしていることを嬉しく思っています。

経理課長になって、どうでしたか？
「.....(しみじみ)」

元々、学生時代から経理の勉強をしてきたわけではありませんでした。就職してすぐに経理に関わることになり、先輩方が経理について教えてくれました。当時、今まで触れたことがないものでしたが「分からないことは調べる」ということを意識して継続し、熱意を持って勉強をしてきました。今は経理課長という立場にありますが、仕事への取り組み方は変わらず継続していきたいと思っています。

INTERVIEW



地域包括支援センター 書記 入職4年

現在のお仕事について教えてください！
「地域の相談窓口として、やりがいを実感しています」

今年の4月から地域包括支援センターに配属となりました。地域包括支援センターでは、主任ケアマネ・社会福祉士・保健師等が中心となって、幅広く高齢者に関する相談援助の業務を行っています。

《地域包括支援センターの4つの役割》

1 総合相談・支援事業 2 権利擁護業務 3 介護予防ケアマネジメント事業

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

電話や来所など毎日様々な相談がありますが、センターの職員と相談しあい、情報共有を行いながら解決しています。

なぜ川崎市社協に就職したんですか？
「子育てと仕事の両立を考えました」

以前は川崎市外で福祉の仕事をしていました。その時は産休育休から復職して時短勤務をしていました。仕事と子育ての両立に悩み、長く暮らす川崎市内で就職を考えた時に、社協の求人を紹介されたことがきっかけで就職しました。

はじめは嘱託職員として採用されました。社協で実際に仕事をするなかで働きやすいと感じたこと、また今までの経験を活かして長く働きたいと思ったことから、試験を受けて正規職員になりました。現在も双子の子育てをしながら、経験を活かしやりがいを持って仕事をしています。

川崎市社協に就職する方へメッセージをお願いします！

社協の仕事は幅が広いので、さまざまな経験が積めると思います。社協でしか経験できない業務があるのも魅力です。また、嘱託職員として働いて職場を知ってから正規職員にチャレンジできたことも良かったです。社協でご自身に合った働き方から始め、ステップアップを目指すのもおすすめです。



印象に残っているお仕事は？
「ご利用者が心を開いてくれたこと」

以前はあんしんセンターに所属していました。その時に、通販やクレジットカードを使いすぎてしまい大変な状況にある高齢者の“保佐人”を担当しました。

はじめはこちらに対する敵対心が強く、関わりに悩むこともありました。しかし、毎週生活費を届けに訪問しているうちに、段々と心を開いてくれるようになりました。

根気よく関わりながら収支を見直し、たくさんある通販の負債を完済できた時は、嬉しく思うと同時にやりがいを感じました。

ある1日に密着！

8：30 出社 メール・記録確認

10：00 訪問 利用者A氏の定期訪問
利用者B氏の退院後の
在宅支援に向けた調整 等

地域で行われる
”住民主体のサロン活動”へ
参加する日もあります。



12：30 昼休憩

13：15 デスクワーク

記録の作成
介護予防ケアプランの作成
電話対応
窓口対応 等

17：00 退社